

令和6年度 男女共同参画に関する市民意識調査【追加分析】

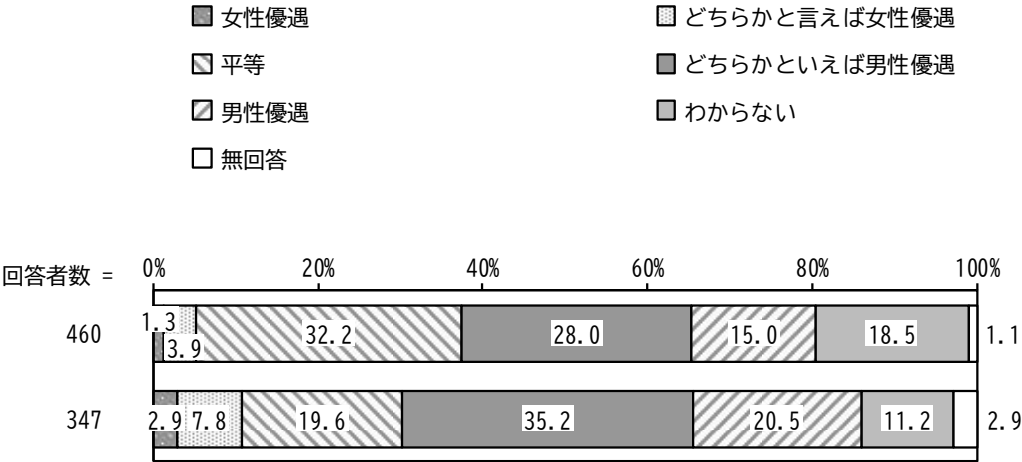
(1) 男女の地位の平等感

(ア) 家庭生活で

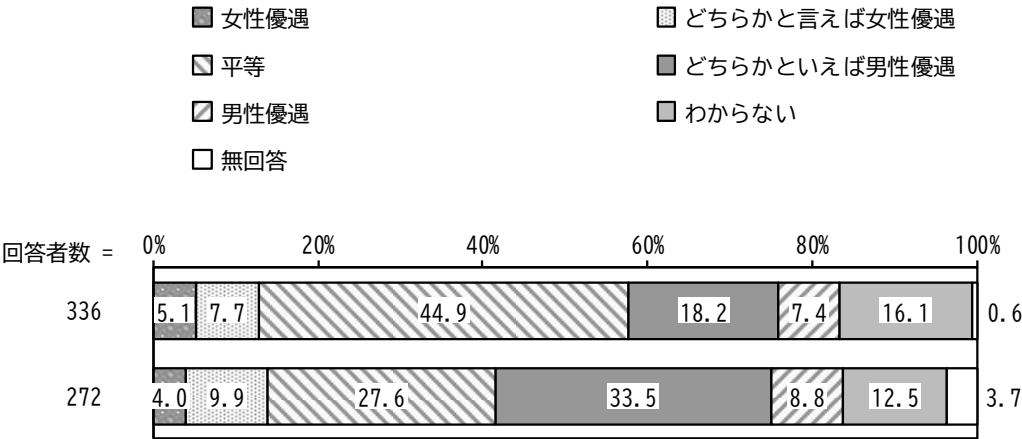
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、女性では、「女性優遇」「どちらかと言えば女性優遇」を合わせた“女性が優遇されている”の割合が減少し、女性、男性ともに「平等」の割合が増加しています。

【女性】



【男性】

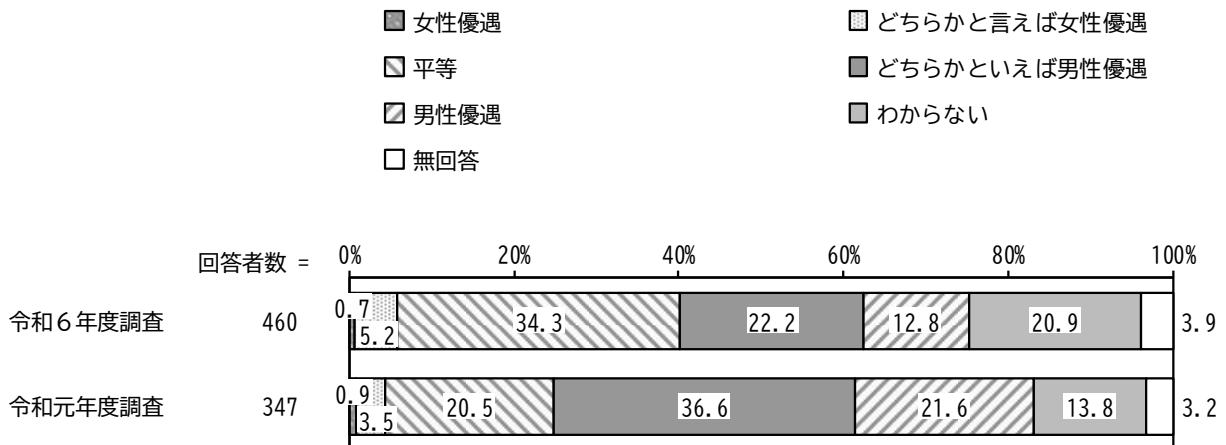


(イ) 職場で

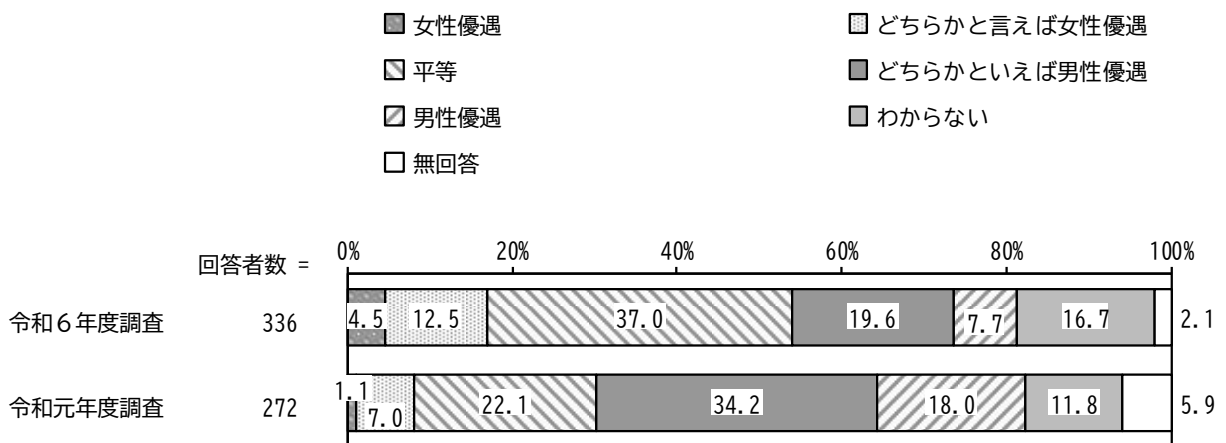
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、男性で“女性が優遇されている”の割合が増加し、女性、男性ともに「どちらかといえば男性優遇」「男性優遇」を合わせた“男性が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】

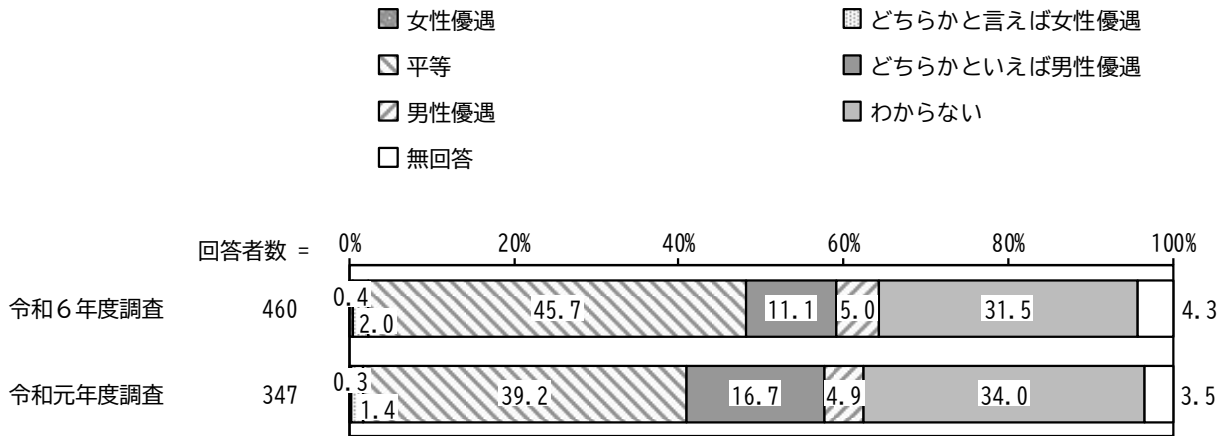


(ウ) 学校教育の場で

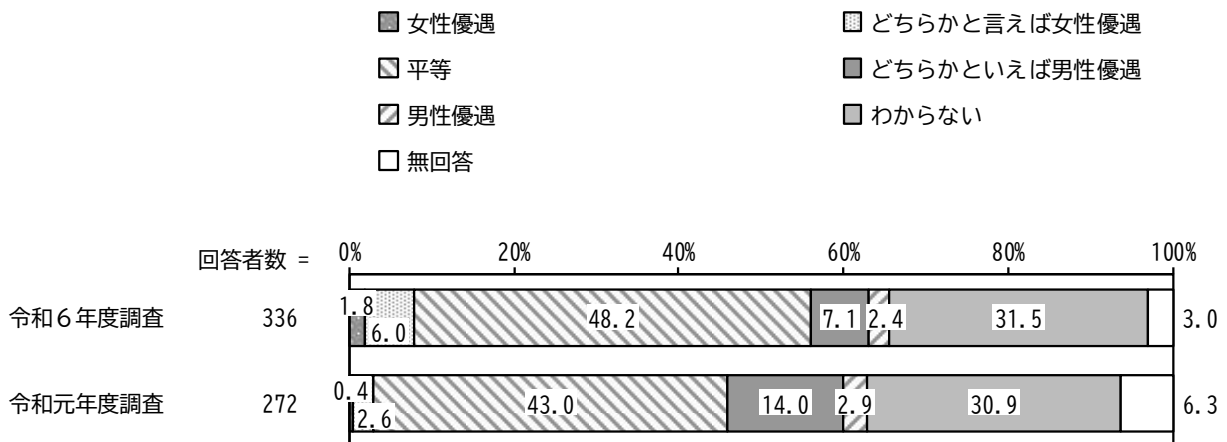
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、女性、男性ともに「平等」の割合が増加しています。

【女性】



【男性】

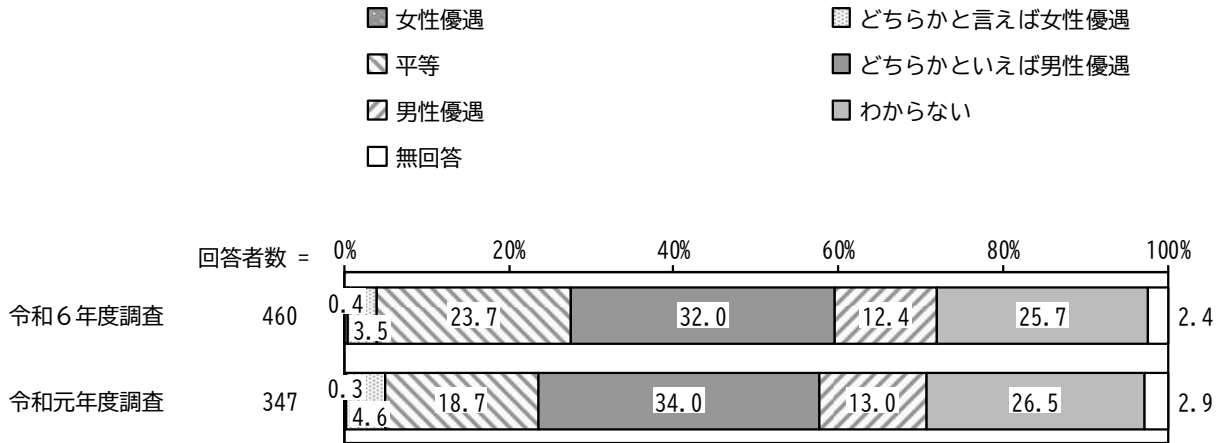


(工) 地域や社会活動の場で

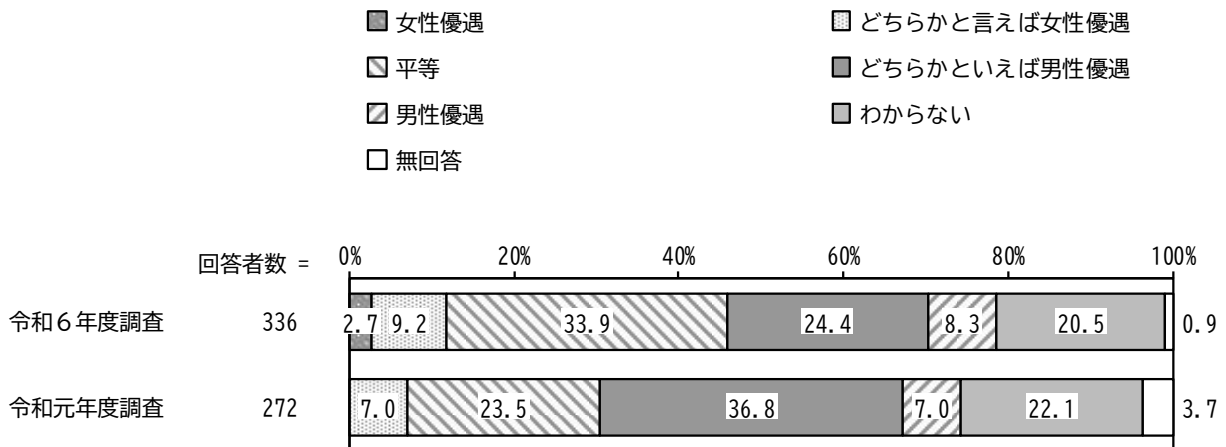
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、男性で“男性が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】

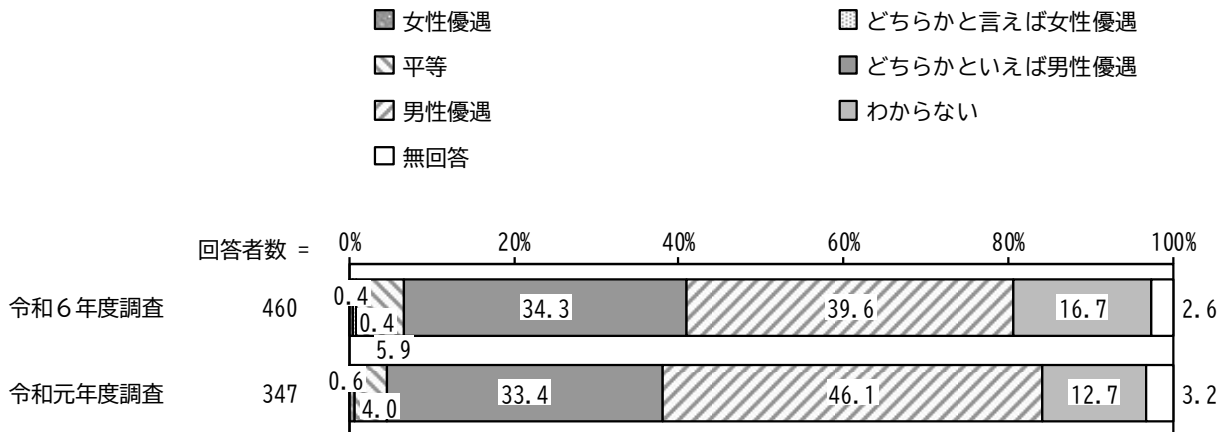


(オ) 政治の場で

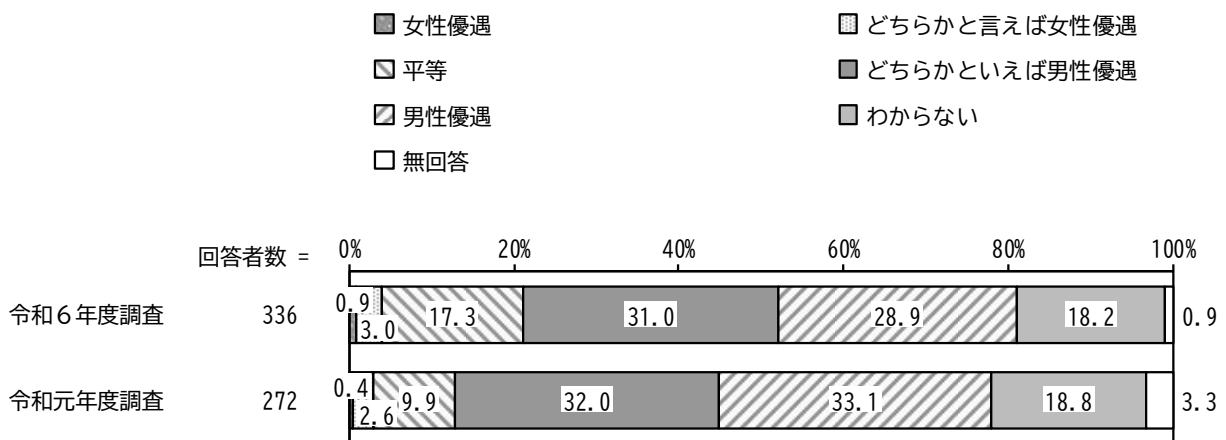
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、女性、男性ともに“男性が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】

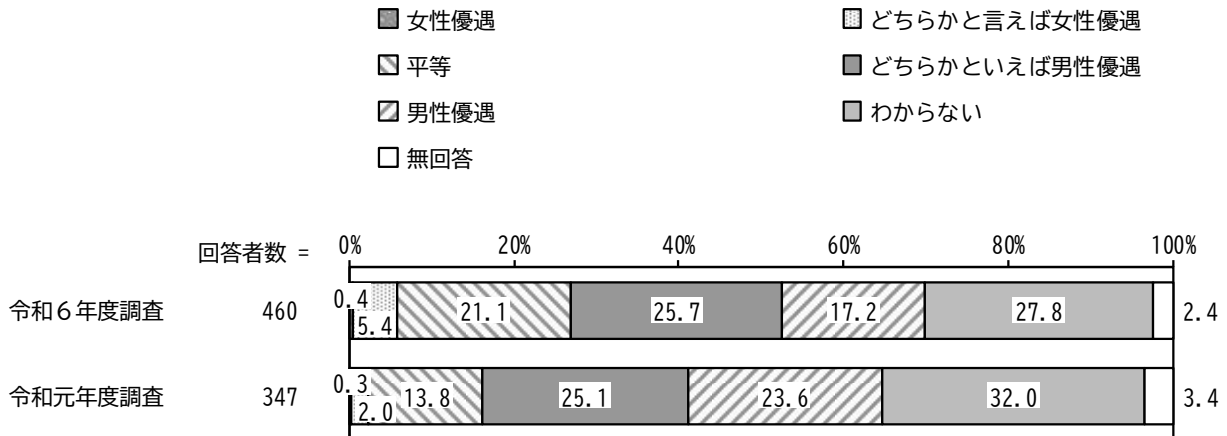


(カ) 法律や制度に関して

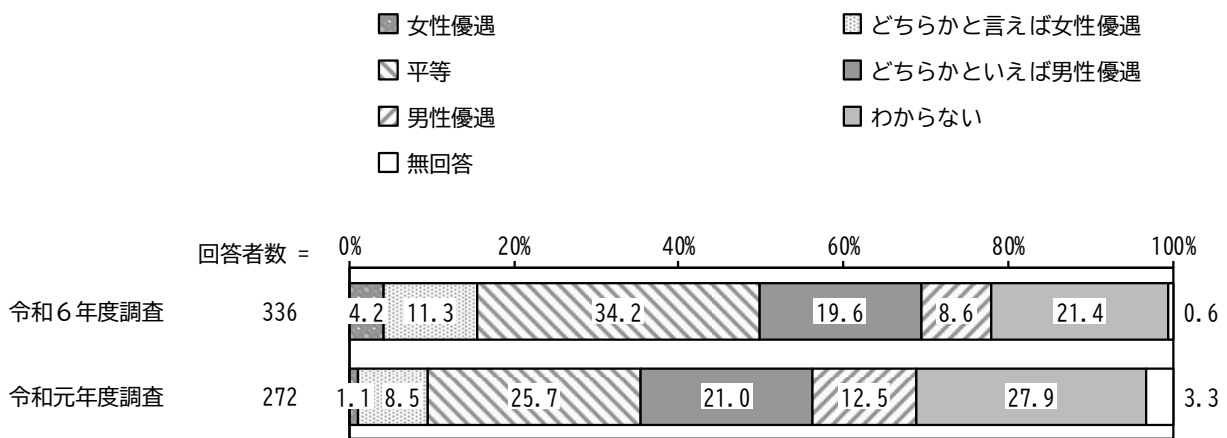
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、男性で“女性が優遇されている”の割合が増加し、女性、男性ともに“男性が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】

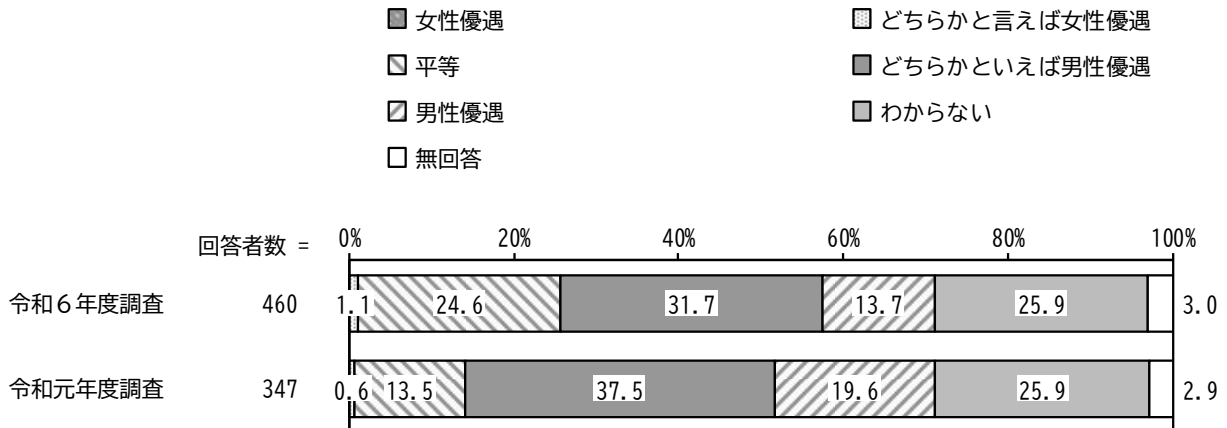


(キ) 就職・採用の際に

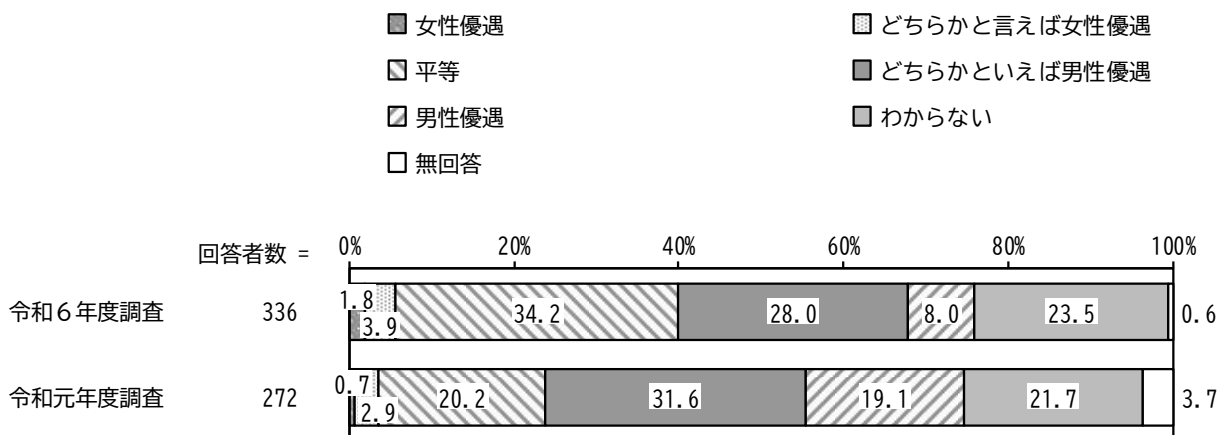
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、女性、男性ともに“男性が優遇されている”の割合が減少しています。

【女性】



【男性】



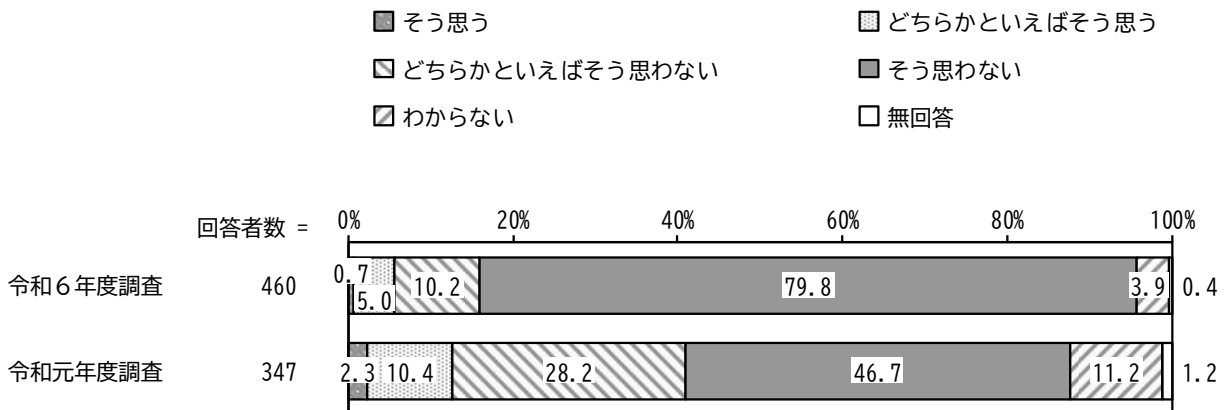
(2) 役割分担意識

(ア) 自身の固定的な役割分担意識【夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ】

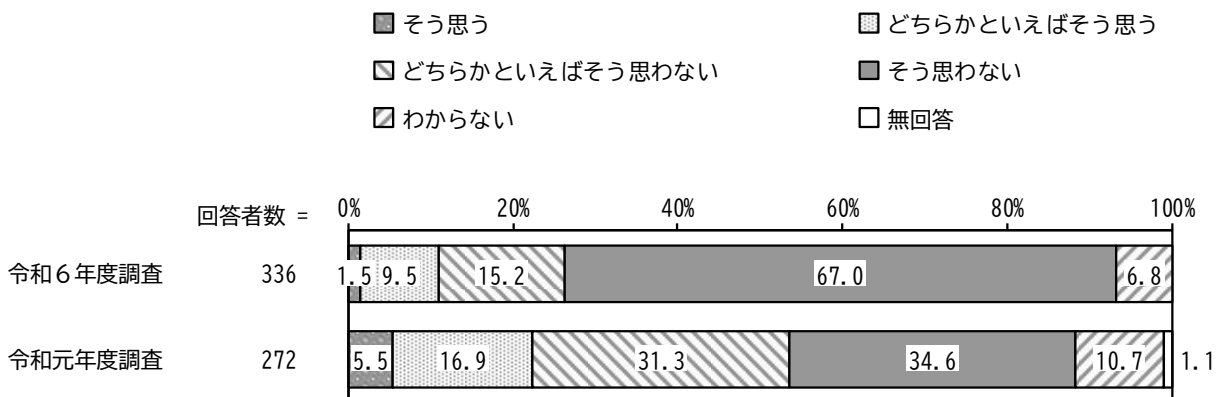
【性別にみた経年比較】

性別で令和元年度調査と比較すると、女性、男性ともに「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」を合わせた“そう思わない”の割合が増加しています。

【女性】

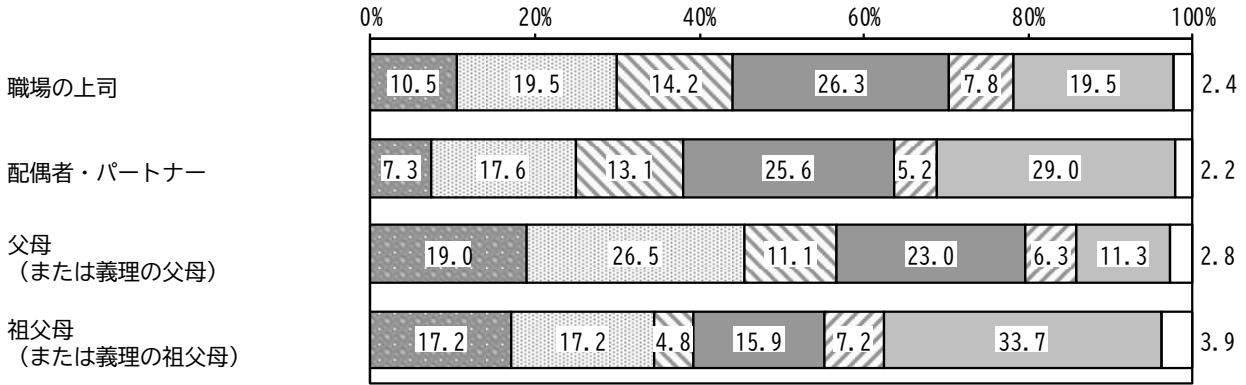
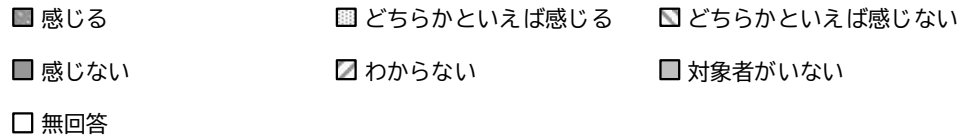


【男性】



(イ) 身近な人の言動や態度に固定的な役割分担意識を感じるか

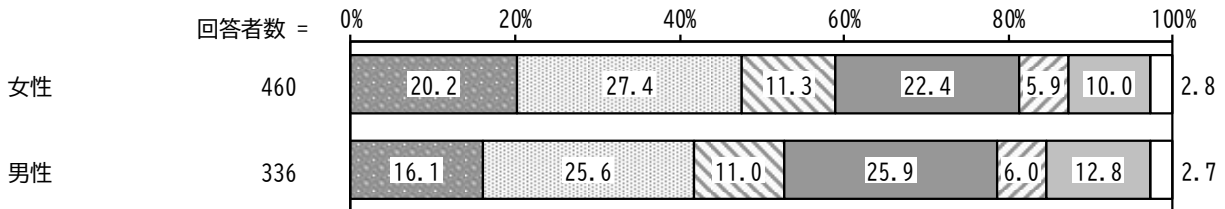
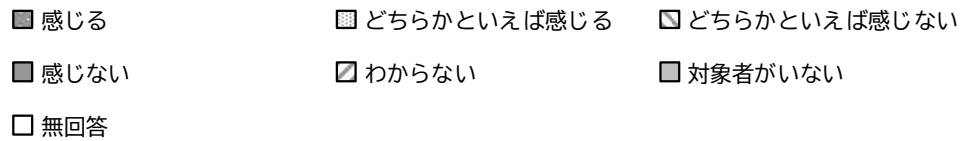
『父母（または義理の父母）』で「感じる」「どちらかといえば感じる」を合わせた“感じる”の割合が高くなっています。



① 父母（または義理の父母）

【性別にみた比較】

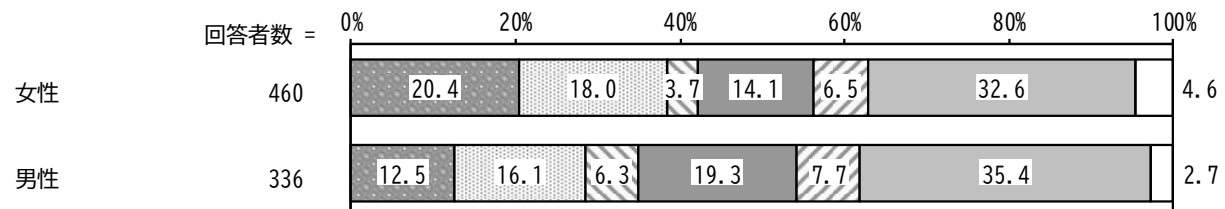
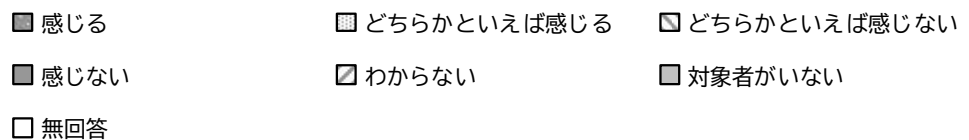
性別で比較すると、男性より女性で“感じる”の割合が高くなっています。



② 祖父母（または義理の祖父母）

【性別にみた比較】

性別で比較すると、男性より女性で“感じる”の割合が高くなっています。

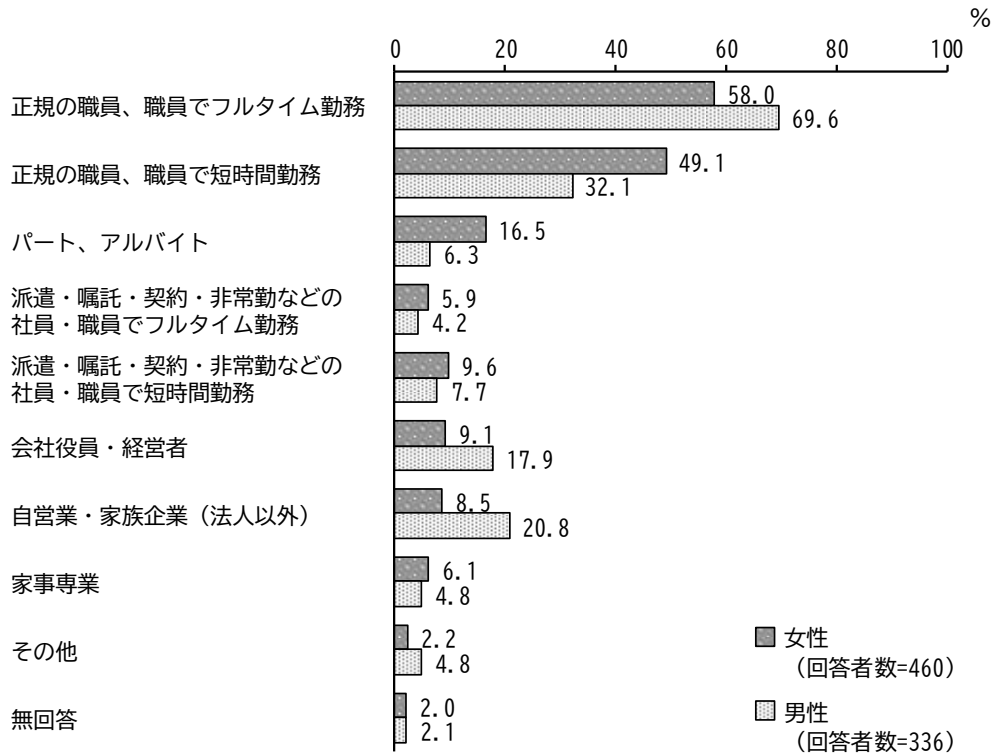


(3) 理想の働き方

(ア) 理想の働き方（雇用形態）

【性別にみた比較】

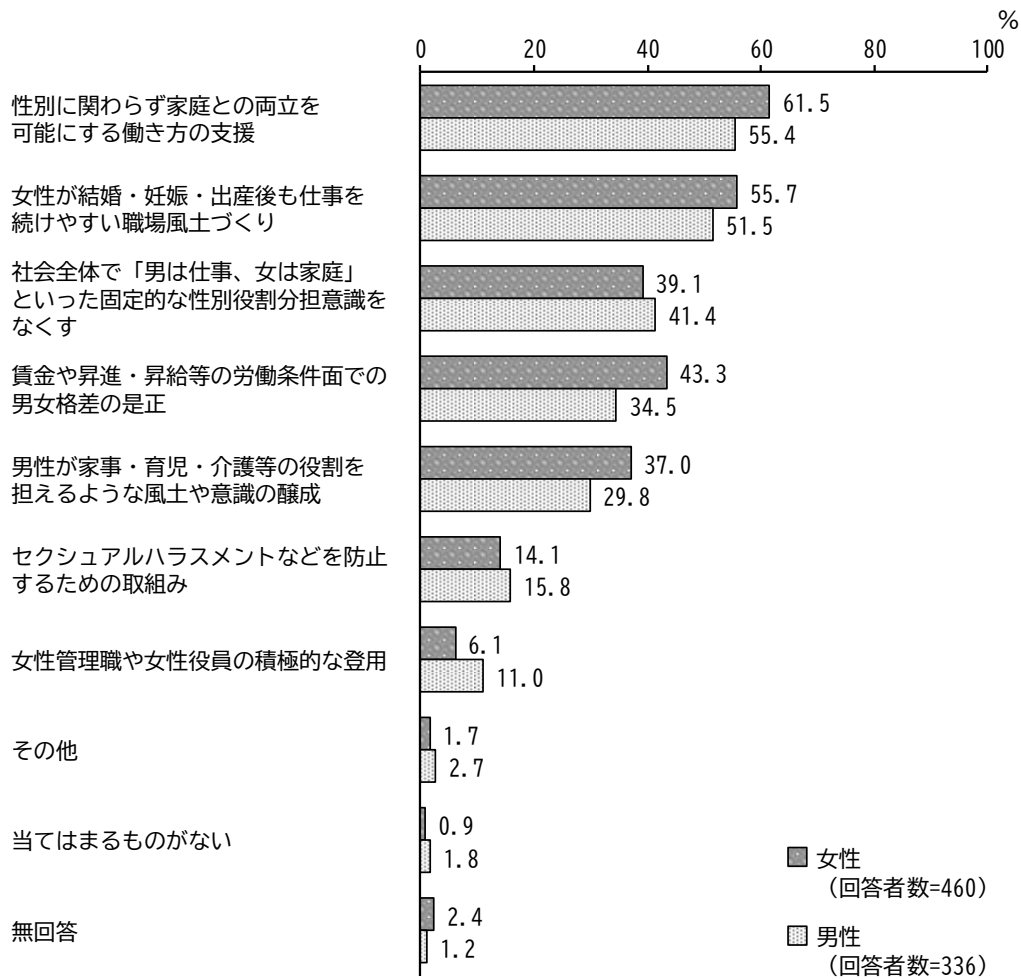
性別で比較すると、女性では、「正規の職員、職員でフルタイム勤務」の割合が 58.0%と最も高く、次いで「正規の職員、職員で短時間勤務」の割合が 49.1%、「パート、アルバイト」の割合が 16.5%となっています。男性では、「正規の職員、職員でフルタイム勤務」の割合が 69.6%と最も高く、次いで「正規の職員、職員で短時間勤務」の割合が 32.1%、「自営業・家族企業（法人以外）」の割合が 20.8%となっています。



(イ) 男女ともに働きがい・働きやすさを感じられる社会に必要なこと

【性別にみた比較】

性別で比較すると、女性では、「性別に関わらず家庭との両立を可能にする働き方の支援」の割合が61.5%と最も高く、次いで「女性が結婚・妊娠・出産後も仕事を続けやすい職場風土づくり」の割合が55.7%、「賃金や昇進・昇給等の労働条件面での男女格差の是正」の割合が43.3%となっています。男性では、「性別に関わらず家庭との両立を可能にする働き方の支援」の割合が55.4%と最も高く、次いで「女性が結婚・妊娠・出産後も仕事を続けやすい職場風土づくり」の割合が51.5%、「社会全体で「男は仕事、女は家庭」といった固定的な性別役割分担意識をなくす」の割合が41.4%となっています。

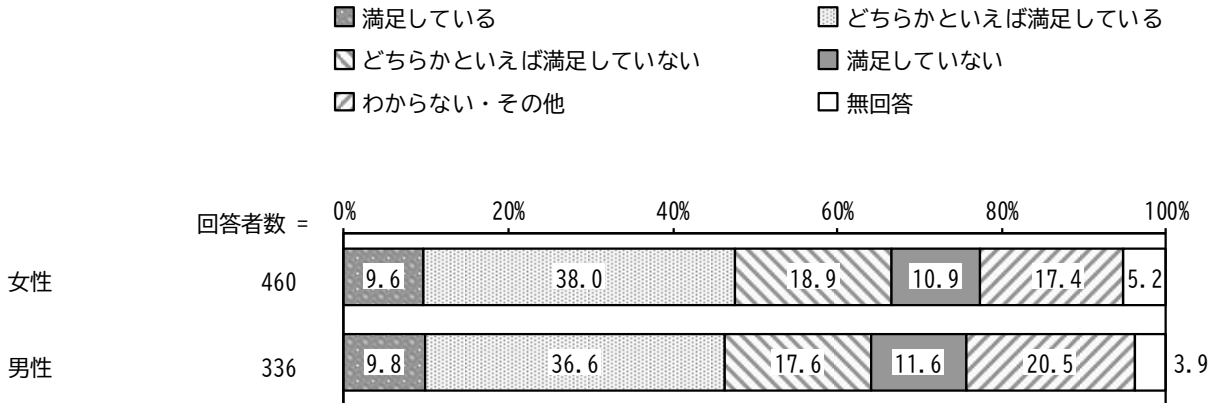


(4) ワーク・ライフ・バランス

(ア) ワーク・ライフ・バランスの満足度

【性別にみた比較】

性別で比較すると、大きな差はみられません。



(イ) 夫婦のキャリアに関する考え方

【性別にみた比較】

性別で比較すると、女性では、「お互いキャリアアップを目指していく」の割合が40.9%と最も高く、次いで「配偶者・パートナーのキャリアを優先していく」の割合が34.9%となっています。男性では、「お互いキャリアアップを目指していく」の割合が51.1%と最も高く、次いで「自分のキャリアを優先していく」の割合が23.7%となっています。

